

事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年8月26日更新

事務事業名		パーク＆ライド事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合 計画 体系	政策 施策 施策の柱	5 25 68	都市基盤の健康 公共交通の充実 公共交通の利便性の向上	所属部 所属課 所属班	市長公室 企画課 企画広報班	課長名 担当者名 (内線)	佐藤 美和 渡邊 光 1256	
予算科目	会計一般	款2 項1 目11	事業連番 11468	根拠法令				
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(開始年度 (～ 年度)	21 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	国道3号熊本北バイパス高架下の新須屋駅に隣接して整備したパーク＆ライド駐車場を運営・維持管理する事業である。整備規模は、アスファルト舗装約2,300m ² 、収容台数72台である。施設内には照明設備を有し、平成21年7月から合志市地域公共交通計画に基づく実証実験として運用を開始した。北バイパス新須屋駅周辺は、合志市総合計画にある交通結節点強化事業の一つとして位置づけられ、熊本都市圏都市交通アクションプログラムにおいても交通結節点としての機能強化が謳われている。平成20年3月の国道3号熊本北バイパスの供用開始にあわせ、平成19年8月に熊本電鉄が新須屋駅を北バイパス高架下へ移設した。国道3号熊本北バイパスの全線開通と路線バス運行や本市公共交通事業が本格化することにより、さらに南部の交通結節点として重要性が高まると考えられ、駅利用者の利便性向上とエコ通勤、交通渋滞緩和を目的として本駐車場を整備した。
【業務の流れ】	令和6年度からは合志市地域公共交通実施事業「11465」へ統合する 施設の運営・維持管理と利用啓発活動を行なう業務である。
【主な予算費目】	特になし
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分 6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・連携中枢都市圏構想における事業と連携した啓発事業の実施、契約者増加によるパーク＆ライドの駐車場整備グッズの配布)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) →ア協議と啓発活動の回数	(単位) 回 イ 予算の主な増減の理由 ・予算計上なし
②対象指標(対象の大きさを表す指標) 市民	(単位) 人 イ ②対象指標(対象の大きさを表す指標) →ア利用者数 イ 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) バス・電車の利用がしやすくなる。	(単位) % イ ③成果指標(意図の達成度を表す指標) →アP & Rの利用率 イ % トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠 ・パーク＆ライドの利用率が向上することは、電車が利用しやすくなる意図の向上に結びつくため。	

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア回 イ		回	20	20	20	20				
② 対象指標	ア人 イ		人	48	40	62	36				
③ 成果指標	ア% イ		%	55.44	55.44	90	51.04				
投 入 量	事 業 費 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0				
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0				
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	3 40	0 0	1 10	0 0				
		(B)人件費計	千円	156	0	39	0				
		トータルコスト(A)+(B)	千円	156	0	39	0				

事務事業名	パーク & ライド事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	-------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は 5年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した 令和4年度は、令和5年度中に実施される新須屋駅上に係る北バイパス高架点検による利用制限のため、新規契約を制限して行っている。 点検後は、さらなる啓発活動の充実を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 御代志方面からのアクセス路線である須屋線の改良が終わり、朝の交通規制が解除されれば、利用者の増加が見込まれる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 対象指標である利用者数の増は、成果指標である利用率に直結するため、周知啓発活動をさらに工夫して実施すれば成果の向上余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 令和6年度からは合志市地域公共交通実施事業「11465」へ統合する	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 事業費がないため削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 必要最低限の人員・業務時間数で実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 事業については、広く市民より利用者を募っている。 月額500円の利用料負担であるが、国と市で覚書締結、その後市から熊本電気鉄道で管理委託を行っている。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 すでに管理運営については、熊本電鉄に委託している。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】

3 評価結果の総括 (C H E C K)

公共交通の利用促進のため、熊本連携中枢都市圏と連携した啓発活動を推進していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止
- 休止
- 目的再設定
- 事業統廃合・連携
- 事業のやり方改善（有効性改善）
- 事業のやり方改善（効率性改善）
- 事業のやり方改善（公平性改善）
- 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

令和6年度からは合志市地域公共交通実施事業「11465」へ統合する

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策